

2018.03.02

【国際交流】フィンランド ヤムク大学、ドイツ フランクフルト応用科学大学学生が本学を訪れました

平成 30 年 2 月 19 日から 28 日の 10 日間、フィンランド ヤムク(JAMK)大学学生 9 名(ソーシャルサービス、看護、理学療法、リハビリテーションカウンセリング)、ドイツ フランクフルト応用科学大学(FUAS)学生 7 名(ソーシャルワーク)が本学を訪れました。JAMK からは 2 回目、FUAS からは初めての学生受入れです。

日本の医療・福祉システム、高齢社会や家族に関して受講したほか、病院や施設訪問では医療・福祉現場の実際を見学し学びを深めました。介護ロボットの技術や導入は 3 か国の共通した課題でもあり、Made in Japan の技術には皆興味深々の様子でした。

また、研修中は全日程学生宅や一般家庭にホームステイをし、ホストファミリーと買い物をしたり、食卓を囲んだり、子どもたちと遊んだりとジャパニーズライフを満喫したようです。週末は国立ハンセン病資料館と湯畑を訪れました。露天風呂や湯畑近辺散策など、3 か国の学生と一緒に群馬の自然を楽しめたことも良い思い出です。国際交流センターは、今後も両大学との文化学術交流が活発になるよう尽力して参ります。プログラム実施にあたり、ご協力頂いた関係者の方々に感謝いたします。



ウェルカムセレモニー



コミュニケーションロボットの実演



学生とのスポーツレクリエーション



和太鼓サークルメンバーと一緒に